

科目ナンバー	SEM-3-003-ky			科目名	課題演習I (大嶋)		
教員名	大嶋 果織			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	学生がファシリテートしてグループワークを行い、①日本ならびに世界の人権状況について理解を深める。テキストには以下のテーマが取り上げられているが、学生の関心に応じて選択したい((障害者の権利、子どもの権利、ジェンダー・セクシュアリティと人権、外国にルーツをもつ人達の人権、人種差別撤廃条約、労働と人権、刑罰と人権、難民・移民問題と人権)。また、②「世界人権宣言」ならびにさまざまな国際条約が果たしてきた役割について知り、人権を守る仕組みについて理解を深める。さらに、③ひとりひとりの人間が大切にされる共生社会とはどのような社会か、どのような取り組みがあるのか、NGOのウェブサイトやニュースレター等を通して、また、フィールドワークを通して学ぶ。						
到達目標	・差別、貧困、戦争等、現代社会が直面している諸問題をいくつか挙げ、解決のための取り組みの具体例を説明できる。 ・「世界人権宣言」ならびに人権に関わる国際条約や国内法の概要やその役割について説明できる。 ・人権とは何か、共生社会とはどのような社会か、自分の言葉で表現できる。 ・人権や共生の視点から社会のあり方を分析する力をつける。 ・ファシリテーションの力を身につける。 ・調査、研究方法、プレゼンテーション、討論する力、思考力、論文作成のための文章力を身につける。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	学生ファシリテーションによるグループワークを中心に進める。状況に応じて教員による資料提示や講義を行う。ドキュメンタリー映像も活用する。学びをより具体的なものとするため、フィールドワークを行う。						
アクティブラーニング		○	サービスマーケティング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	2年時のゼミ選択で許可された学生。						
アセスメントポリシー及び評価方法	グループワーク、発表と討論への参加、レポート等によって総合的に評価(発表35点、討論への参加35点、レポート30点)						
教材	『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年						
参考図書	神奈川人権センター編『21世紀の人権』日本評論社;『人権で世界を変える30の方法』ヒューマン・ライツ編 合同出版; 宍戸常寿編『18歳から考える人権』法律文化社2015年; 福田弘編訳『人権・平和教育のための資料集 英語・フランス語原典テキスト付』明石書店2003年; 阿久澤麻理子、金子匡良『人権ってなに?Q&A』解放出版社2006年; 横田洋三編『国際人権入門』法律文化社; 遠藤比呂通『人権という幻 対話と尊厳の憲法学』勁草書房2011年; ジャン・クリストフ・ヴィクトル『地図で読む世界情勢 情報革命と新しい国境』河出書房新社2012年; レイフ・クリスチャンソン(文)、ディック・ステンペリ(絵)『わたしとせいのせき』岩崎書店1996年、その他、授業で紹介する。						
内容・スケジュール	①第1回～第2回は新聞を使ったグループワーク(「まわし読み新聞」)。社会を見る視点やそれぞれの関心に分かち合う。グループ毎に発表。 ②第3回～第4回 テキストについて教員による解説。学生担当箇所選定。フィールドワーク候補地協議、全体のスケジュールを検討。 ③5回目以降は学生ファシリテーションによるグループワークを中心に進め、必要に応じて学生発表や教員による講義を行う。なお、グループワークと学生発表については以下の点に留意する。 ・毎回のテキスト箇所は全員が読んで準備をする。 ・ファシリテーション担当者は教員と相談しながら、グループ活動を準備する。 ・グループワークでは全員が積極的に活動に参加することが求められる。 以上を通して人権課題やさまざまな人権条約、国内法の概要、実際の取り組みについて理解を深める。 ④フィールドワークの事前学習は担当を決め、調査研究をして発表する。また、全員が、フィールドワークの目的およびそれぞれの課題を明確にして実施する。 ⑤授業外学習時間について ・毎回のテキスト箇所講読(1.0) ・ファシリテーションの準備(1.0) ・フィールドワーク事前準備下調べ(3.0)						

・レポート作成(10)
・その他の時間(36)

Number	SEM-3-003-ky	Subject	Junior Specialty Seminar I		
Name	大嶋 果織 (Oshima Kaori)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>The purpose of this seminar is to explore how we can make our society more inclusive. Students learn the conceptual history of human rights and the practice of human rights movements, as well as human diversity in this world through the textbook, workshops and exposure trips</p>				